

ふれまち八多

第178号

<編集・発行>



八多ふれあいの
まちづくり協議会
TEL 078-982-0514

八多中学生頑張る！



バドミントン部 吹奏楽部

八多中学校は全校生47名の小さな学校で部活動は二つしかありません。この度、ともにすばらしい結果を出し、生徒達に紹介してもらいました。



バドミントン部



4月より外部顧問の仲日出男先生を迎えて、新たなスタートを切りました。体育館にひびくシャトルの音が、どんどん力強くなっていき、生徒たちの意気込みを感じました。しかし、5月に入ると、コロナ感染緊急事態宣言発令で、部活動ができなくなってしまいました。生徒たちのがっかりした姿は、見ていて辛いものがありました。しかし、八多中生は、諦めていませんでした。神戸市総合体育大会では、1人が精一杯力を発揮できました。

男子団体優勝、ダブルス3位、そして、県大会では、男子団体3位という素晴らしい結果となりました。

バドミントン部主将3年 竹垣 聰真

僕たちバドミントン部は、4月から新しく外部顧問の先生を迎え日々の練習に励んできました。どんなにきつい練習でも、仲間と共に乗り越え、そして何よりバドミントンを楽しみながら練習してきました。そして市総体と県総体では日々の成果が発揮され、仲間と共に良い結果を残すことができました。これは充実した環境を作ってくれた先生方や、応援してくれた家族や友達のおかげだと思います。感謝の気持ちを忘れず次の世代にも頑張ってほしいと思います。



吹奏楽部

私たち八多中学校吹奏楽部は、昨年度は文化発表会、クリスマス会、校内アンサンブル発表会を行い、今年度は7月30日に神戸文化ホールで行われました兵庫県吹奏楽コンクールに、約10年ぶりに挑戦しました。初めての大きな舞台での演奏にとても緊張しましたが、仲間を信じ、練習で積み上げてきた頑張りを自信に変えて、八多中学校らしい、素直で一生懸命な演奏を披露することができました。コンクールで演奏した「Cerulean Wind」はさまざま 「風」を表現する、華やかで美しい曲です。それぞれの場面の「風」の表現をみんなで考え、表情豊かに仕上げました。

この大きな経験を今後の活動にいかし、さらにいい演奏ができるよう練習に励んでいきたいと思います。

住民自治組織代表者と区長との懇談会

八多町自治協議会からの要望3点

令和3年度の標記の会が11月4日(木)に予定されています。八多町自治協議会からは懸案となっている次の3点を要望します。なお、回答は後日お知らせします。

① 屏風辻・瀧・宮坂線道路拡幅について

1. 現状

屏風辻・瀧・宮坂線は、八多町と大沢町を効率よく結ぶ道路で、利便性の高い道路です。しかしながら、八多町西側の山陽道北側から大沢町大沢「北六甲カントリー俱楽部」に至る区間については、道幅が狭く見通しも悪いため、大変危険です。このため、早期の拡張整備、道路舗装について従来より要望してまいりましたが、当該区間の地権者により令和元年6月に突然閉鎖され、車両の通行が全く出来なくなってからすでに2年以上になります。

地権者との交渉が始まり、一部測量実施中ともお伺いしますが、通行の確保についての見込みはどうでしょうか?また、道路拡張整備につきましても一層ご努力いただきたいと思います。

2. 要望

①通行止めの解除について

地権者が通行を止めるという異常状態が2年以上続いており、通勤などで利用していた多くの市民が大幅な迂回を余儀なくされております。拡張・整備計画と関連するとは思われますが、当面通行可能となるよう要望します。

②拡幅・整備について

長年の懸案ですが、八多、大沢両町の地元自治会、八多出張所、大沢出張所、北建設事務所と協議を進め、連携のもと地権者の了解を得て、早期の道路拡幅・整備を実現していただきますようお願いいたします。

② 八多・淡河バスの乗車利用促進施策について

1. 現状

昨年の10月から「八多淡河バス」という名称で淡河町への延伸、早朝や夕方の便の新設、土日の運行などと路線バスの減便を補完しあう対策をご提示され、トライアルしていただいております。

これまで地元も「はたっこバス」の維持存続のため、毎月イベントを実施して乗車促進を働きかけるとともに、地元負担が生じた場合の財源対策として車内広告の獲得や新たに「はたっこバスサポーターズクラブ」の設立などに取り組んでまいりましたが、新型コロナ禍でイベントはほとんど実施できず、外出自粛やバスの乗り控えなど、交通機関にとって極めて厳しい状況です。そんな中でも、八多淡河バスの試験運行の状況は、目標乗車実績は何とか目標をクリアし、10月から本格実施に移行する予定です。

バス便が存続・充実していることが、里山定住や地域魅力の基盤です。この路線を存続させるため、できるだけ地元負担が発生しないよう不測の事態に備えていただき、ご支援・ご協力をお願いしたいと存じます。

2. 要望

①八多淡河バスの本格実施にあたって、八多町民・淡河町民および藤原台地区・北神星和台地区の住民が利用出来るようなルートや時刻表の調査・検討および利用拡大を実施するための施策・方法について、ご検討をお願いしたい。

②八多・淡河町民の地元負担が無くなるよう、種々の施策を講じていただきたい。

③ 八多義務教育学校の教育環境の充実について

1. 現状

八多小学校校区からの通学利便性の理由による鹿の子台小学校等への指定外通学によって八多小学校の児童数が激減しており、この危機的状況を踏まえ、10年ほど前から指定外通学の見直しをお願いしてまいりました。

市教委でご検討の結果、令和5年度から八多小・中学校を統合して9年間一貫の義務教育学校(港島学園に次いで2校目、里山エリアでは初)としてスタートすることとなりました。様々なご努力に、心から感謝いたします。自治協議会をはじめ地域団体もしっかりと学校をサポートしていきたいと考えております。

しかしながら直近3年間の小学校入学者数は7名、11名、7名であり、もし来年度の入学者数が8名以下であれば学級編制の基準(1年生を含まない2学年合計で15人以下は複式学級)により、2年後には複式学級になってしまうと伺っております。今後の児童生徒数の見込みを推計しますと、中地区など八多校区内で他校への通学が認められている地域も含めて子どもの減少傾向が著しく、義務教育学校として適切な教育環境を確保することが困難な状況が開校当初から予想され、不安に思っています。

2. 要望

- ①里山地区最初の義務教育学校として教育内容を充実させること
- ②中地区など指定外通学が可能な世帯にむけて八多義務教育学校を強力に推奨すること。
- ③近隣校区からの指定外通学を認める事によって児童減少を食い止めること。

八多町公園で夏の奉仕活動

8月3日(火)明寿会が八多町公園周辺で夏の奉仕活動を行いました。当日は午前中あいにくの雨で午後2時開始となり、一番暑い時間帯に草刈りや草引きの作業に取り組んでいただきました。参加者は約20名、お疲れ様でした。その後、8月29日(土)には午前8時から自治協議会やふれまちの役員、学校関係者などふれあいセンターの利用者約70名が参加して恒例のふれあいセンター周辺の清掃活動。約2時間ですっかりきれいになりました。ご協力ありがとうございました。



令和3年度

農村ツーリズムに チャレンジします！

私たち「どーんと八多」は、昨年度立ち上げた主に住民でつくった任意団体です。メンバーもまだまだ数が少なくその認識も色々で、穏やかにできる範囲での地域活動に取り組んでいます。

昨年は、自治会と共同で「R2八多淡河スタンプラリー」を開催し、皆様にはチラシや「農村里山散策ガイドマップ～八多淡河エリア～」の設置等PRにご協力いただき、ありがとうございました。

さて、本会の今年度は自立を目指し、自治会から少し軸を事業者が主体となる農村ツーリズム事業に移しチャレンジしていくたいと思います。

将来、（民間事業者で回せる）地域の事業として、ごくごく小さな経済効果かもしれませんのが、地域が楽しく元気になれる取り組みにしたいと思っています。

八多町の魅力は農村景観、歴史遺産だけでなく、おいしいお店、農作物、加工品なども沢山あり、これらをチラシや農村ツーリズムHPでどんどん宣伝し、八多町および周辺エリアをPRしていきます。今後はHPで賛同いただける皆さまや取組み等の紹介もしていくらしく思っています。

また農村里山ガイドマップを利用して頂くレンタルサイクルや農業収穫体験したものを自ら調理して食するBBQやキャンプ事業も新たにトライしていく予定です。

どーんと八多を楽しく元気にする会 代表：柿田 雅由

音響機器を購入しました

～ ふれまちの備品として ～

この度県民交流広場の助成金（全額補助）を利用して
ふれあいセンターの備品を購入しました。

購入品は下記の通り。

- 65型モニター
 - ポータブルアンプ2台
 - マイクセット（ハンド型2本・タイピン1本）
 - プロジェクター

※今後の行事などで活用していきます。



「八多淡河バス」は来月 10 月から本格運行

「八多淡河バス」はいよいよ10月から本格運行開始。8月は長雨や盆休みなどのため乗客数が減少しました。継続的な運行のため、さらなる乗車協力をお願いします。

◆八多淡河バス利用者数（合計・日平均）

農業委員・農地利用最適化推進委員決まる

7月末に神戸市農業委員会から八多町自治協議会と農会長会が推薦していた標記の委員(3人)に関する総会決議を経た委嘱決定通知が届きました。

農業委員は西浦秀男さん(附物)、農地利用最適化推進委員は中澤惣一郎さん(屏風)と森丈実さん(下小名田)です。任期は令和3年9月10日から令和6年9月9日の3年間です。3人協力して神戸市の農政に取り組んでいただきます。いろいろお世話になりますがよろしくお願ひします。



西浦秀男さん



中澤惣一郎さん



森丈実さん

ありがとうございました

*八多町蓄意銀行にご芳志をいただいた方々
柳谷 他 谷 恒 治 様 (特別寄付)
お花の会・花笑み 様 (供養として)

義務教育学校 開校準備委員会スタート

以前からお知らせしておりますように令和5年4月から神戸市里山エリア初の義務教育学校が八多町に誕生します。夏休みも終盤の8月30日(日)に八多中学校で第1回「義務教育学校開校準備委員会」が開催され、委嘱を受けた地域の各種団体やPTAの代表が参加し、下記のような検討課題について議論を始めました。

- ・校名 ・校章 ・校歌 ・制服、体操服
- ・小学生の部活動参加 ・PTA組織

今後必要に応じて原案を決定し、内容に応じて児童生徒・保護者・地域からの意見を収集し設置者である神戸市教育委員会の方針を確認しながら新たな学校づくりを進めていきます。みなさんのご協力よろしくお願ひします。



※詳細は後日回覧の「義務教育学校開校準備委員会だより」をご覧ください。

お知らせ 小中の職員室が一つに

義務教育学校に向けて、夏休み中に工事が終わり八多小学校と中学校の職員室が2学期から一つになりました。

コロナ禍で暗いニュースが多い中、八多中学生の頑張りはまさに快挙です。おめでとう。町民みんなが若い力に励まされました。さて、いろいろな行事が中止となる中、町民文化祭(展示のみ)だけはなんとか実施したいと準備を進めています! お楽しみに!

編集後記

防コミ 「地域お助けガイド」 の作成始まる

八多防災福祉コミュニティでは今年度北消防署の援助を受けて「地域お助けガイド」を作成します。北区各地の防コミではすでに「地域お助けガイド」が作成されており八多町は遅っていました。

最近でも8月に大雨がありましたが、今後台風の被害も予想され、気象条件が変化する中、いつどこで起こるかもしれない災害に備えなければなりません。コロナ禍の中、会議が遅れていた防コミの「地域お助けガイド」作成ワークショップが8月20日(金)ふれあいセンターで始まりました。八多町内9つの地区から防災リーダーの各地区長を中心に3名が参加。神戸市から委託されたコンサル会社の「人・まち・住まい研究所」職員の進行でワークショップの趣旨説明後、用意された大きな地図に災害リスク・危険箇所を書きこみ防災マップの作成を行いました。今後、災害時の集合場所の決定などを話し合っていきます。

次回は11月12日(金)です。

